



牧之原

平成30年 1月 吉日

45 号

編集・発行

公益社団法人

牧之原市シルバー人材センター

本 所 牧之原市相良 263-79

TEL : 0548-52-5080

榛原支所 牧之原市静波 172-1

TEL : 0548-23-0505



〈写真提供：小俣 範直さん〉



新年おめでとう
ございます。

皆様には希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、設立三十周年記念式典を参加者二百九十名により盛大に開催いたしました。

本年は、会員の皆様が平穏で輝かしい一年となりますようご祈念申し上げます。



新年のご挨拶



牧之原市シルバー
人材センター

理事長

本杉 佳弘

新年おめでとうございます。皆様におかれましては、おだやかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

当センターも牧之原市をはじめ関係諸団体の温かいご支援、ご協力と、会員の皆様の熱意ある取り組みとご尽力により事業が順調に運営され、新しい年を迎えることが出来ましたことを心からお礼申し上げます。

さて、今年度の事業実績は、現時点で契約金額は目標を上廻る見通しで推移しておりますが、会員

の目標値増強については厳しい実態となっており、役員、職員、会員で一体となって取り組むことが重要でありご協力をお願い致します。

安全就業につきましては、安全委員会を中心に取り組んでいます。「事故ゼロ」を目指し、決められた事を自分自身で実行するしかありません。

地域社会のお役に立つ事業として、空き家、空き地問題に、積極的に取り組んでいきます。

又、介護予防、日常生活支援事業に関しても取り組み、地域社会の期待にこたえたいと思っております。事務所移転、統合については、関係機関に、お願いしてまいりましたがこのたび元片浜小学校に決まり、現時点では改装、準備等があり、夏頃までには移転出来る見通しでございます。真のセン

ターとして発揮出来ます様、ご理解と、ご協力をお願いします。

シルバー事業運営にあたり、重要な事は、会員皆様の自主性、自発性であり、センターの行事、総会、地区会合、奉仕作業、旅行、新年会……等々積極的に参加して下さいます。

この一年、皆様にとりまして、素晴らしい年になりますよう、心よりご祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶



牧之原市長
杉本基久雄

新年おめでとうございます。

牧之原市シルバー人材センター
会員の皆様、役員の皆様、並びに
関係者の皆様におかれましては、
清々しい新春をお迎えのこととお
慶び申し上げます。

昨年中は、牧之原市政に対しま
して格別のご厚情とご協力を賜り
誠にありがとうございました。

牧之原市シルバー人材センター
は、設立から30周年を迎えられ、
市民の皆様から親しまれ、また頼
られるセンターとして発展してこ
られたことは、ひとえに会員の皆
様をはじめ、関係者の皆様の熱い
思いとご尽力の賜物であると存じ

ます。市としましても大変ありが
たく、心強く思う次第でございま
す。

さて、私は昨年10月22日に行わ
れました市長選挙で当選させてい
ただき、今後4年間の牧之原市政
の舵取りを託されました。これま
で培ってきた行政経験を生かし、
皆様のご支持とご期待にお応えで
きるよう全力で取り組んで参りま
す。

市が直面している人口減少や少
子化などの課題を解決していくた
め、子育て世代から高齢者まで雇
用と福祉が充実した、誰もが安心
で心豊かに暮らせるまちづくりを
推進していきます。

昨年は、一部地域で予約型乗合
タクシーの試験運行を開始しまし
た。新しい交通手段やバス路線の
再編等、公共交通の利用促進を図
り、高齢者や障がい者福祉の充実

を目指します。

また、当市は2020年の東京
オリンピック中華人民共和国のホ
ストタウンに登録されました。今
後、サーフィン競技の事前キャン
プ地の誘致等を通じ、参加国との
人的・経済的・文化的な交流を図
るとともに、オリンピックを契機
に増加が見込まれる富士山静岡空
港を利用する観光客と、地域の魅
力ある観光資源を活用した事業を
結び、沿岸部の賑わいを創出して
参ります。

市といたしましても、会員の皆
様が、ますます元気に活躍でき
るよう環境づくりに努めてまいり
ますので、ご協力賜りますようお
願い申し上げます。

結びに、牧之原市シルバー人材
センターのますますのご発展と、
皆様のご多幸を祈念いたしまして、
新年のご挨拶とさせていただきます
ます。

年女



◆鈴木 力雄◆(勝間)
仕事に恵まれ現在の勤めも四年になる。「仕事は楽しくやる。」をモットーとしているが疲れた時にはランニングをして体調管理。そうする事で明日への活力がわく。仕事も趣味も無理なく頑張ろうと思う。夢見る力ある限り。

◆赤堀 敏男◆(勝田)
会員になって六年かと思つて振り返つて見ました。
茶業の仕事の合間にシルバーの仕事させて頂き、毎年頑張つてきました。
私の一番の安らぐ時は、夕食の時の小一、保育園の孫がしてくれる肩叩きと好きなビールの酌をしてくれる時です。幸せだなあー

◆羽田 四郎◆(須々木)
シルバー人材センターに入会して十年目になります。
植木や畑での仕事をしているので体を動かす事が多く、それが体に良い事と思ひ仕事をしていきます。
今年も事故も無く仕事がしたいです。

◆赤堀 敏宏◆(菅ヶ谷)
今年もお世話になります。ファミリーに干支の戌が三頭、私と妻、孫娘です。犬足の如く生活速度に減速が効かず、加速一辺倒です。「テレビ直虎」での何故じゃが浮かび、チャレンジ心が薄いのか？正月を待つ童と逆に六回目の成年は遅い到来を祈る。

◆西原 茂◆(地頭方)
何事も もう欲張らず 朝日に感謝し 夕陽に杯を上げ 好きな音楽を聞く。
好きな言葉は「足るを知る」
年男 六回目となり、老犬に。

◆内藤 静夫◆(静波)
私の趣味は山登りです。山登りの良い所は、ストレスが解消出来、健康に良い事です。又、お酒もおいしく飲む事が出来、仲間達と楽しく過せる事です。六回目の成年を迎えこれからも身の丈にあつた山登りを楽しく続けて行きたいと思ひます。

◆本杉 辰弘◆(勝俣)
健康に気をつけて。一年も長く仕事ができるようがんばつていきます。自分に必要な金は自分の働きの中で恵まれるものであると信じます。今年もよろしくお願い申し上げます。

◆植田 一巳◆(笠名)
毎年何の目標もなく新年を迎えていましたが、身体の衰えを感じるようになり、今年には散歩を心掛け健康に気を付けて、仕事をもう少し頑張つて見ようと思ひます。友との会話や笑顔に心癒やされ楽しんでいきます。皆様にも良いお年でありますように。

年男

平成
30年

◆今村 陽子◆ (波津)

春、小さな花が咲き、秋にはたわわなオリーブの収穫です。そこに従事している私は、美味そうな赤黒い実を一粒口に運びえぐみの強さに「ビックリ!!」収穫、選別、搾出された新鮮で芳醇な香りのオイルは、山花園の自信作となり、即完売です。

◆大石 民子◆ (静波)

今している仕事が毎日楽しく、通っています。ありがとうございます。仕事が出来ると、自分の趣味にもお金をかけられて、きれいな花づくりを楽しんでいます。ドライブも好きで、運転して、あちこち、でかけます。これも健康のおかげです。仕事もあってうれしい。

◆原口 勝次◆ (新庄)

趣味と健康のために、シルバ―人材センターに入会しました。庭園班で諸先輩方々のご指導で松等の剪定作業が出来るようになりました。作業時期は毎日充実し、早寝、早起きで身体と事故に気をつけて頑張っています。働く目標は「古希」までと考えていましたが、まだまだ仕事と趣味のゴルフが出来るので、感謝しております。

◆名波 弘子◆ (須々木)

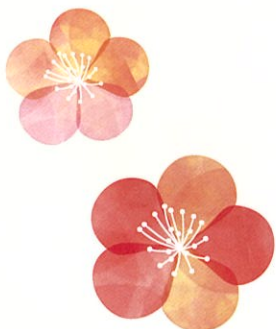
私は健康で一番気を付けている事は水と塩です。質のよい水と塩を取るよう心がけています。七十才過ぎまで大病なく元気で過ごして来ました。そのおかげで仕事も週四日、二年ほど務めて来ました。これからも仕事、健康に気を付けて生活して行きたいと思っています。

◆良知 正◆ (細江)

最近誘われて地域の川柳クラブに入会しました。そこで一句願わくば十回目指す年男
趣味の数仕事も入れて両手程
趣味の内やぶれかぶれの五七五
手習いの自己満足や医者いらず
言い訳の「時間が無くて」酒は飲み
こち良い汗芳しき加齢臭

◆紅林 道夫◆ (大江)

「行つて来るよ」と、女房と犬に言つて家を出る。今、私は大栄ホームで働かせてもらっている。車の運転なので交通安全第一に考えてハンドルを持つている。会社の監督さん事務所の人にも可愛がってもらっています。これからも相棒と安全第一でがんばります。



空き家の現状と 視察研修に参加して

原口 勝次（新庄）

牧之原市の平成二十五年の空き家率が十七・二%となっております。

私達の近所にも空き家があり、各地で社会問題化しています。適正に管理されない老朽化した空き家等が増えている中、その事を防止するためにも、本年度の当センターの事業計画施策において「空き家、空き地管理事業の推進」が新規事業として進められようとしております。そのため、九月四日、日光市シルバー人材センターの事業概要と空き地等の適正管理業務についての視察研修に参加させて頂きました。日光市の人口は牧之原市の約二倍と面積は十三倍と事務所も三ヶ所と広範囲となっております。通勤、作業時間等、活動に支障があり、大変な点もあろうかと感じました。

又、空き家や空き地の管理事業に


については業務内容が空き家と空き地の確認事業であるので、申込みが無でありました。そのため、業務内容の手続きの方法等についての説明を受けましたが、実務についての研修が出来ないのが心のこりでありました。

最後に今回の研修に参加された、理事長を始め、異業種の役員の皆様方、ありがとうございます。感謝申し上げます。



設立三十周年

記念式典功労者

 センターの運営と事業の推進に
寄与された元役員

大石 佐平治 様（波津 百四歳）


鈴木 みえ 様（福岡 九十七歳）

大関 剛 様（静波 八十二歳）

 永きにわたり業務した業績

西尾 あい 様（須々木 九十二歳）

松浦 ぎん 様（細江 八十四歳）

 永きにわたり
ボランティア活動に協力

永田 恭一 様（大沢 八十二歳）



安全委員会より

『自分の安全は、自分で守る』

安全委員長 横山正恒（細江）

会員の皆様、安全には充分配慮し就業されている事と思いますが、当シルバー人材センターの発生事故が（平成29年度4月～10月）7件と何れも軽傷でした。前年度は、14件の内、1週間以上の入院者5名と大幅に減少しております。是れも会員の皆様が安全委員会の遵守事項を守って就業して頂いた結果と感謝致しております。

平成29年度全国シルバー人材センターで起きた重篤事故が（4月～7月）18件、内訳は就業中13件、就業途上5件。（静岡県シルバー人材センター連合会資料）内容は、就業中8件、就業途上3件。事故状況2件を紹介します。

1. 公園内の枝下ろし作業を三脚を使用して作業中3mの高さから落下し安全帽、安全帯を着装していない為、死亡した。
2. 集めた草を軽トラックに積込み荷台に上がり踏み固めていた運転者が荷台の者に声をかけてトラックを発進させた時荷台の上にいる者が道路に落下し安全帽を着装していない為、死亡した。

平成30年度安全委員会は【安全はすべてに優先する】を合い言葉に
【安全なくしては就業なし】

「自分の安全は自分で守る」「家を一步出たときから帰宅するまで安全に心がけ一人ひとりが安全の基本を守る心構えが重要」

安全就業は、シルバー人材センターの基本

ですので会員の皆様方のご支援ご協力をお願い致します。

就業中の事故発生状況調査（平成29年度）

発生日	発生時間 性別・年齢	仕事内容	事故の発生状況
5月23日	15時30分 男・76歳	清掃作業	製品を入れるコンテナを清掃中、積んであったコンテナが落ち頭を4針縫う怪我をした。
6月8日	13時25分 男・69歳	草の処分	ダンプにて刈り草を搬出中、建物の外壁に運転席側後方をぶつける。
7月20日	6時45分 男・76歳	海水浴場 料金徴収	海水浴場の就業先に向うため、自転車に乗車し、途中誤って転倒し、脇腹等を強打した。
8月1日	8時20分 男・66歳	草刈り	草刈中蜂に左手薬指を刺された
8月22日	11時30分 男・73歳	草刈り	草刈作業中に石が飛び駐車場内の車のフロントガラスを破損した。
9月27日	14時00分 男・66歳	草刈り	草刈中、さつきの中に伸びた草があったので刈込バサミを入れた時蜂に右手の甲を刺された。
10月10日	12時00分 女・66歳	清掃	清掃中の通路で転倒し、左手小指を骨折した。

会員の広場

楽しむことを忘れずに

大石 武久（細江）

私は、グラウンド・ゴルフを楽しみにしています。どんなに練習や数多くの大会へ参加してもなかなかうまくなりません。下手でもいいじゃないかと思いつつも大勢のみなさんと会えて、そのう話話し合いができます。太陽のもとで光をいっぱいあびながら、また西風の中で体を鍛え健康を維持しています。

高齢者となったら、これが一番の楽しみでもあり大きな宝だと思えます。見栄を張らず自分の運動神経の鈍さもあって、それなりにやっつけていけばよいのではないかと思います。

時々、ホールインワンが入り、う

まくいったときの喜びや、高揚感を十分に味わい、しかし勝利主義にならないよう、気をつけながら頑張っています。

お年寄との出会い

大石 宰子^{すず}（福岡）

認知症対象の施設に勤め十二年。多くのお年寄と知り合いました。それまでお年寄と接したことのない私にとつては新鮮で、驚きも経験しました。

目の不自由なKさんは、いつも冷静で怒りも喜びも表わさない、感情の乏しい方と生きていました。

ある日「岩壁の母」を唄いながら子を待つ母親の話をしますと、大粒の涙を流して話を聞いておられました。Kさんは感情豊かな方と知り感

また、百四才のSさん。何でも御自分ででき、私を手助けしようとする。「いいよ、できるから」と、とても気丈な方でした。入浴時背中に手ぬぐいをまわしてごしごしと洗われるのには、とてもびっくりしました。

Sさんがお楽しみ会で怪獣のお面をかぶって写真を撮りました。後日その写真を見たSさん、「おー、おれもこんな顔になっちゃって…」と大変ショックを受けられた様子でした。Sさんの心を傷つけてしまったことにとつても反省しましたが今は思い出の一つとなっています。

毎日介護の仕事で多くの方と接していますが、その方がその人らしく笑顔で毎日暮らして下さることが一番の願いです。何かいっしょにやっ

て「お世話さまだね」「ありがとう」と言っ

て下さる方も多く、心の癒し

となっています。

新会員の紹介

どうぞよろしく

浅野 桂子(中)	飯塚 早苗(細江)
伊故海恵子(坂部)	大石 尚史(大沢)
大石 弘美(静波)	大石 町子(静波)
大杉茂登治(仁田)	北川欽四郎(細江)
金原 民雄(静波)	楠田 初枝(新庄)
栗田 雅昭(東菘間)	斎藤 譽司(細江)
桜井 政雄(勝間)	櫻井 安雄(細江)
佐野 芳男(西山寺)	四ノ宮明男(波津)
杉本 清(細江)	鈴木 孝枝(新庄)
杉山 武男(細江)	曾根 文江(布引原)
高塚 法子(細江)	竹内 正枝(勝田)
原口 勇(新庄)	深津 定央(布引原)
藤田 祐司(細江)	増田ちづ子(地頭方)
増田 正美(須々木)	増田 峰雄(宍野)
松浦 勝(細江)	松本 道雄(菅ヶ谷)
松田喜久夫(勝俣)	水野 博(細江)
森田 芳夫(女神)	森田 吉彦(女神)
八木まゆみ(波津)	矢野 克二(地頭方)
矢部智江子(相良)	山下 勇(地頭方)
山下としえ(地頭方)	山田 兼道(黒子)

事務局からのお知らせ

☆事務所移転について

会員の皆様には、日頃からシルバー事業活動の担い手として一生懸命取り組んでいただき感謝申し上げます。

さて、センター本所事務所のある牧之原市老人会館は、耐震基準は満たしてはならず、また老朽化が著しく使用に大変支障を来しています。

巨大地震の発生が危惧されている中、海岸に面している本所は津波から市民会員及び事務局員等の安心安全を守るためにも早期に移転しなければなりません。また、牧之原市老人福祉センター内にある榛原支所も狭小のため改善する必要があります。

このような状況や組織体制の基盤強化をするために、市へ事務所移転先をお願いしていたところ元片浜小学校の利活用を進められ現在、市関係部局と協議をしております。

これからの予定については皆様にお知らせします。皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。

移転場所 牧之原市片浜

元片浜小学校 南校舎一階

移転時期 平成三十年度

互助会だより

☆一泊旅行

平成三十年三月十五日(木)・十六日(金)
ミナト神戸と世界遺産、国宝姫路城

☆標語の募集

安全意識を願って就業中に限らず日頃の交通安全について特に高齢者の交通事故が増加していますので募集をします。

●賞 最優秀賞一点

優秀賞二点

佳作三点

●応募先 事務局

●審査結果 次回会報

●締め切り 平成三十年四月末日

●表彰 六月の通常総会

✿ 編集後記 ✿

明けましておめでとございます。皆様方、お健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。今年の干支は戌、犬は多くの家畜の中でも人とのつきあいの最も長い動物といわれています。犬のように周囲を歩きまわり、いいチャンスにめぐり合うといいですね。すばらしい一年になるよう祈ります。

編集委員

委員長 鈴木千城(大奇)・横山眞一(細江)

太田勝夫(細江)・中西雷太郎(静波)

今村とし子(大江)・絹村まり子(事務局)